

議 事 概 要

目 的	第 1 回尾鷲市総合計画審議会 部会協議
-----	----------------------

日 時	平成 2 8 年 6 月 3 日 (金) 2 0 : 1 0 ~ 2 1 : 0 0
-----	--

場 所	本庁 3 階 第二・三委員会室
-----	-----------------

部 会 名	第 2 部会
-------	--------

内 容	<p>○出席者 委員：大西 正隆、塩崎 保夫、中森 将人、長谷川 陽 市：市民サービス課 川上主任主事、福祉保健課 東係長、総合病院 平山課長 市長公室 岩本補佐</p> <p>○主な協議等内容 ・部会長 中森 将人 氏 ・次回開催日 平成 2 8 年 7 月 8 日 (金) 1 9 時～ ・質疑応答 以下のとおり</p> <p>委員 3 4 ページの成果指標「高齢者の転出入割合」というのは、どういう指標なのか。</p> <p>岩本補佐 「高齢者の転出入割合」については、総合計画 5 8 ページにも記載されているが、「6 5 歳以上人口における転入人口÷転出人口」により算出した割合となっており、転入人口を転出人口よりも多くしたいということになる。</p> <p>委員 3 6 ページの成果指標「障がいのある人の地域移行者数」についても説明をお願いしたい。</p> <p>岩本補佐 「障がいのある人の地域移行者数」については、総合計画 5 9 ページに記載があるように、「入所施設に入所している障がいのある人が、入所施設から居宅やグループホームなど、生活の場を地域へ移行した人数」となっている。</p> <p>委員 市民アンケートの「重要度」「満足度」については、少し違和感がある。そんなに「重要度」が下がってきているものばかりでないと思うが・・・たぶん別の人に対してアンケートをしているということでしょうね。そうすると統計上は評価できない。</p> <p>岩本補佐 市民アンケートは、各年度とも 1,000 人を無作為抽出して実施している。ですので、同じ人に実施しているわけではない。</p> <p>委員</p>
-----	--

「満足度」も同じですね。分かりました。市民アンケートで評価をするのは危険だということですね。

岩本補佐

そうですね、これだけで判断するのは難しいと思います。

委員

現場の方の感じとして、特に「重要度」がそんなに下がっているというイメージが自分としてはないので…

岩本補佐

アンケートは配付数 1,000 枚に対し、回収数は 523 枚、そして同じ人に対するものではないので、参考として見ていただくほかないのかなと思います。

委員

他の年度との比較ではなく、今現在このくらいということに理解したい。

委員

40 ページの施策名 232 市民相談窓口の確保 の内部評価で、「平成 26 年から交通事故相談をなくし、登記に関する司法書士相談事業を開始」と書かれているが、どのような理由からか。

川上主任主事

次回までに内容を調べて報告したい。

委員

成果指標である「相談件数」については、本来、増えることは良くない。何も相談がない世の中であることが一番ですよ。

岩本補佐

三重大の先生の指摘にもあるが、相談件数の増加を評価するという考え方もある。この場合、増加した方が良いのか、減少した方が良いのかという問題はあと思う。

委員

サービスを提供する側から言うと、増加した方が良いということだと思うが、市民側からするとちょっとどうかと思う。

委員

施策名 212 医療体制の確保、221 高齢者保健福祉の推進 の主要事業の中に、同じ事業名のものがあるが、内容が分かるように資料をお願いしたい。

岩本補佐

4 の尾鷲総合病院運営事業については、例えばリニアック等の機械設備の整備である。3 については、医師・看護師の確保等も含めた病院の運営事業。参考資料 2 「事業評価一覧」の中に簡単な事業内容があるので、参考にしていただきたい。

委員

施策名 211 健康づくりの推進 の主要事業 9 「健康弁当開発事業」は三重大の先生からも指摘があるが、事業の見直しが必要とされている。この事業はどういったものか。

東係長

基本的に生活習慣病予防の食の見本となる形を作りたいということ。組み立てが遅かったので、この評価になっていると思うが、調理師会、観光物産協会、商工会議所とともに、尾鷲市の甘辛い食を何とかできないか、高血圧予防を主眼にカロリーを抑えた食の見本づくりを、各関係団体と協力して取り組んでいる。

岩本補佐

次回開催までに、総合評価書にじっくりと目を通していただき、各施策に対するご提案をよろしくお
願いしたい。